

戦略企画会議から

Progress Report from the Strategic Planning Committee

日本眼科学会の新型コロナウイルス感染症への対応

戦略企画会議第三委員会では、「社会と医療環境の変化に即した会員支援を行う」ことを目的に掲げており、このたび誌面をお借りして、新型コロナウイルス感染症に対する日本眼科学会の対応をまとめます。4月23日時点での情報であることをお断りさせていただきます。日本眼科学会では、日本眼科医会と合同で「新型コロナウイルス感染症眼科対策会議」を発足し、対応に当たっております。日本眼科学会ホームページの「新型コロナウイルス感染症関連情報」特設サイト(図1)にも適宜情報を掲載しておりますので、ご参照ください。

1. 国民向けの情報発信

以下の情報をホームページにて公開しました。関連リンク集は随時更新を行っています。

- ・新型コロナウイルス感染症の目に関する情報について(国民の皆様へ)
- ・新型コロナウイルス感染症と結膜炎について(国民の皆様へ)
- ・新型コロナウイルス感染症について(関連リンク集)

2. 会員・医療関係者の皆様へ

以下の情報をホームページにて公開し、会員メールマガジンでも周知しました。

- ・新型コロナウイルス感染症に対する正しい理解のために
- ・新型コロナウイルス感染症流行時の眼科手術に対する考え方(第1報)
- ・新型コロナウイルス感染症流行時の眼科手術に対する考え方(第2報)
- ・新型コロナウイルス感染におけるヒドロキシクロロキン投与と眼科検査
- ・緊急セミナー動画「新型コロナウイルス(COVID-19)」を会員専用ページで公開
- ・新型コロナウイルス感染症について(関連リンク集)

日本眼科学会雑誌5月号の「理事会から」では、外園千恵理事に「新型コロナウイルスへの対応」を、同じく6月号の「理事会から」では、高橋政代理事に



図1 「新型コロナウイルス感染症関連情報」特設サイト。

<http://www.nichigan.or.jp/feature/covid-19.jsp>

「With コロナの時代」をご寄稿いただきました(当誌459ページ)。

各基幹病院の「外来」、「入院」、「再来/投薬」等における対応について書き込み・閲覧できる専用サイトを設けて、会員間の情報共有に活用していただいています。現在、大学病院を中心に全国59病院の情報が書き込まれています。

3. 日本眼科学会関連の行事について

3月21日～22日に今年で最後となる開催を予定しておりました「眼科スプリングキャンプ2020」は、中止となりました。

第124回日本眼科学会総会はWeb開催となりました。東京国際フォーラムでの講演、撮影、そしてライブ配信などは実施しませんでした。総会期間中に開催を予定していた、専門医制度講習会、屈折矯正手術講習会、オルソケラトロジー講習会などの各種講習会、表彰式、視覚障害者スポーツ体験会、市民公開講座などはすべて中止となりました。

日本眼科学会の理事会・評議員会は、予定していた



図2 Webによる評議員会の様子。

オペレーション会場に飯田常務理事、堀常務理事、富田監事と事務局スタッフが集まり、会議の進行とホストコンピュータの操作を行った。

4月15日に、初のWeb会議形式で開催しました。評議員会では、役員、評議員、名誉会員をあわせて100名超が参加しましたが、投票も含めて滞りなく進行了しました(図2, 図3)。総会期間中に開催を予定していた、戦略企画会議正副委員長会議、JJO エディター全体会議は関係者への資料配付をもって開催に代えさせていただきました。総集会プログラム委員会は、会期を延期したうえでのWeb開催となりました。

地方開催を模索していた第32回日本眼科学会専門医認定試験ですが、やむなく延期することになりました。



図3 評議員会のWeb画面。

た。

4. 日本眼科学会関連学会との連携

日本眼感染症学会からは情報発信文書の作成において、感染症の専門の見地から適宜ご意見やご助言を頂戴しています。

各総合病院においては、全科を上げて手術のプライオリティの決定が課題となっており、日本眼科学会でも眼科手術の緊急度分類表を作成することとし、手術に関連する9つの関連学会に緊急でご意見をうかがいました。

日本眼科学会関連学会の学術総会においても、Web開催への変更や延期を決定する学会が増えており、ホームページや会員メールマガジンを通して学術集会に関する最新情報も随時提供しています。

角膜カンファランス2020(Web開催)で緊急特別講演をお引き受けいただいた、東京大学医科学研究所先端医療研究センター感染症分野/附属病院感染免疫内科の四柳 宏教授による緊急セミナー動画「新型コロナウイルス(COVID-19)」を日本眼科学会ホームページでも会員に向けて公開しました。